

氏名	松原 一 志		
学位の種類	医学博士		
学位授与番号	乙 第 1769 号		
学位授与の日付	昭和62年 3 月 31 日		
学位授与の要件	博士の学位論文提出者（学位規則第 5 条第 2 項該当）		
学位論文題目	肥満者の体表面心臓電位図		
論文審査委員	教授 木村郁郎	教授 太田善介	教授 中山 沃

学位論文内容の要旨

標準十二誘導心電図やベクトル心電図に比較して誘導点の数が多く、心臓全体の電気現象を把握するのに有用な体表面心臓電位図を用いて、肥満の心電図波形に及ぼす影響について検討を行い、以下の成績を得た。

- 1) QRS の最大陽性電位が、肥満群の方が左前胸部上方から左背部上方にかけて大きく、下方領域で小さかった。これは、肥満群で電気軸が左上方に向かうことに対応した所見と考えられた。
- 2) 肥満の心電図波形へ及ぼす変化は、横隔膜の挙上による解剖学的な心臓の回転が最も大きく関与していると考えられた。
- 3) 従来から問題とされる皮下脂肪・胸郭の形状では、肥満群でみられた差を説明し得ないと考えられた。
- 4) 心電図波形に影響を与える身体上の因子として、肥満度も考慮にいれる必要があると考えられた。

論文審査の結果の要旨

本研究は肥満者の体表面心臓電位図について臨床的に研究したものであるが、従来十分観察されていなかった肥満の心電図波形について QRS の最大陽性電位が左前胸部上方から左背部上方にかけて大きく、電気軸が左上方に向った所見として横隔膜挙上による回転が関与していることを認め、肥満度が心電図波形に影響を与えている考慮すべき所見であり、重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。